

学童指導員の役割と勤務内容

-指導の手引き-

中川学童保育所

～あたたかく やわらかく ゆったりと～



1. 学童保育指導員の役割

学童保育の役割

共働き世帯、母子・父子家庭の権利と生活を守る。
子どもたちの放課後の生活と安全を守る。

上記2点を最低限の基本としながら

集団保育の優位性の中で、子どもの豊かな成長・発達を保障する。
子どもと取り巻く大人たちの協力・共同の輪を
築くとともに地域へ広げる。
地域の教育力の再生。

果たして現在は、子どもたちの成長と発達にとって
のぞましい社会となっているか。

- ・早期教育
 - ・詰め込み、選別教育の横行
 - * このところは個性重視という大義名分の中、
選別が一層顕著になっているのではないかと思います。
 - ・頹廢文化の氾濫
 - ・交通、環境問題
 - ・子どもをターゲットにした犯罪の増加 等
- 我が子、我が家だけの幸せはあり得ない...

中川学童保育所で大切にしていること

大切にしていきたいこと

『あたたかく やわらかく ゆったりと』子どもたちと向き合おう！

指導目標

親の労働と、子どもたちの放課後の安全、且つ豊かな成長発達を保障するため、最低一つの区切りとなる年度末まで、学童に在籍する子どもたちが自分からすすんで学童に通えるよう、一人一人の個性を大切にすることを第一義的に、学童保育がもつ異年齢集団の特性を活かし、あそびを通じて以下の力や心を育てられるよう保育にあたります。

子どもたちに培いたい力

基礎的な知識と生活技術。
豊かな情操と健康な体。
豊かな社会性。
生命を大切に、相手のことを尊重できる人間性。
豊かな生活体験をみんなで創りあげることで、学力の土台となる、
・生きた知識や ・集中力 ・粘り強さ。
生きる意欲。
平和と民主主義への理解。

こんな学童に（集団像）

- 一人一人が大切にされ、主人公になれる学童。
- 子どもたちの日常生活の中で起こる問題を、仲間として励ましあい、助け合い、共感しあえる学童。
- みんなで話し合い協力し合いながら、
- 一つのことを創りあげて行くことのできる学童。
- 豊かな文化にふれ、それを守り発展させられる学童。

こんな子どもに（子ども像）

- いつも元気で明るい子
- あそぶこと、働くこと、学ぶことに意欲的な子。
- 仲間の中で自分を発揮することができ、
- 仲間と一緒に最後までやりぬくことができる子。
- 人の役にたつことが好きで、誰にでも優しくできる子。
- 正義感があり、平和と民主主義を愛する子。

2、具体的勤務内容

指導員の基本的勤務内容

出欠席の確認（連絡なしで、お休みした子のチェック 父母への連絡）

- ・ 近くの公園へ出かける時も含め、常に人数チェックを！

子どもたちの安全（交通事故・犯罪への巻き込まれ、あそびや生活の中での事故やケガ）の確保と、積極的防止。

- ・ 危険事象の予測と、危険物の除去および危険行為に対する注意。
- ・ 子どもたちの体調への留意。

子どもたちの生活づくりの補助。* スケジュールに対する声掛け。

子どもたちと関わること（特にあそび）

✚ 先ずは子どもたちを迎えることから -。

一人一人の子どもにさわやかに

「おかえり！」 「おはよう！」

もちろん同行した父母や来訪した人にも。

✚ 子どもたちのあそびの中に自ら入ること。

ムードメイク。

子どもたちの目標になれるように。

創造的発展への働きかけ。

✚ 全体を見ること（安全の確保）。

一カ所に留まっていないこと。

万が一の対応に備え、座り込んでいないこと。

✚ あそびの組織（提案）。

一人でいる子やふらふらしているグループに

「 やらない？」などの働きかけ。

✚ 学習、工作などの手助け。

学童内外の整備と美化

- ・ きれい好きの子に。
- ・ 特に玄関、台所、トイレ 等はその施設の顔！

《ゴミだし》

- | | | |
|------|---------|-----------|
| 生ゴミ | - 月・木曜日 | 学童のすぐ前に。 |
| 資源ゴミ | - 火曜日 | 学童の西交差点角。 |
| 不燃物 | - 水曜日 | 学童の西交差点角。 |

事務仕事

- ・ 記録、通信の発行、行事計画の立案、
保育教材の買い出し 等

子どもを迎える準備

お茶づくり - 出勤後すぐ。夏場は水で冷やす。

おやつを用意（毎日）

予算及び準備人数

1日 - 最高で2,000円まで。平均30人分。

留意事項

- ・ できるだけ果物が一品入るように。
- ・ チョコレート、キャンディ、ガム、炭酸飲料は出さない。
- ・ できるだけ安全な食品を（添加物だらけのものは避ける）。
- ・ 手作りを心がけよう！

基本的には3品セットで出します。

主品 - 手作りを中心に、お腹がふくれるもの（例えばホットドック）。

季節の果物

おかし（一口ゼリー 等）

事務仕事

保育教材（工作）の購入と準備 - 適時

通信の発行（父母に保育内容を伝える、実践の蓄積）

日誌の記入（実践の蓄積）

各研修への参加

自主研修（実践及び理論）

子どもたちの日記の点検（返事書き）

電話の対応。

- ・ さわやかに！
- ・ 伝達事項等は『連絡メモ』ノートへ記入。

区役所提出書類の作成と提出

毎月、月初めに『在籍児童名簿』『児童主席簿』『指導員名簿』を区役所へ提出しています。全学童の提出があった時点でその月の助成金が振り込まれます。

当初、こうした業務は父母会の仕事として位置づいていましたが、近年は指導員が担うケースが増えています。

その他

意識して、継続して記録をとりましょう。財産になります -。

対外・渉外活動

現在の名古屋市の学童施策は不十分であるため、そうした状況を改善して行くためにも、他学童及び他団体との共同・協力の取り組みは大変重要な活動です。

指導員はそうした活動も積極的に担い、推進しています。

- 合同行事の企画・運営
- 各連絡協議会の組織・運営
- 学童保育を広め発展させるための啓蒙活動
- 小学校との連携
- 地域との連携
- その他

3, 留意事項

基本的確認事項

事故に対する心構えを常に持つ。

- ・ 事故が起こらない(起こさせない)環境作り、雰囲気作りを!
- ・ 事故に対しての対応を明確に!

万が一、事故が起こったら!?

▶あわてない、パニックに陥らない。

近くに子どもたちが居る場合は、落ち着かせる-

▶状況を正確に把握し、先ずは病院へ連絡する。

▶一人で見ていた場合は、応援の要請。

- 同僚・責任指導員
- 近隣の学童指導員
- 父母会会長もしくは父母会役員

▶関係者への連絡。

- 同僚・責任指導員
- 対象児童の父母(緊急時の連絡者)
- 父母会会長もしくは父母会役員

緊急連絡票はファックスの横にファイリングしてあります。

率先してあいさつをしよう!

- ・ 子どもにも、同僚にも学童を訪れた人にも。
- ・ 出勤時・退出時などははっきりと。

良くも悪くも、学童は集団であるため、
地域の人に見られています(常に意識していきましょう)！
→電話の対応も明るく爽やかに！（忙しいけど、先方より先に切らない）

子どもたちの前では元気良く、明るく！

- ・ 自らの体調管理を怠らない。

体調不調による注意散漫は、事故の大きな原因となります。

毅然とした態度で子どもたちと接しよう！

- ・ 人を傷つける（この場合は心）言葉や態度をとった子にはその場で！
- ・ 理由の如何を問わず他の子に暴力を振るった時には厳しく。
- ・ なにかあった時には自分の意志で！
「シャリバンに言うよ」「シャリバンに聞いてみないと」
などは厳禁。その対応の善し悪しについての是非はその後の問題。

一方的にならない。

- ・ 大人の論理で子どもをやり込めてしまわず、まずは子どもたちの話を聞く。
- ・ 子どもたち同士のトラブル（ケンカなど）は、できるだけ子ども同士で解決できるよう対応する。

正規、アルバイトに関わらず、私たちは、子どもたちにとっては彼らのかけがえのない時間の中で出会った大人。良くも悪くも影響を与えるということを自覚しよう！

「さんみたいになりたい」

「さんはこんなことをしてくれた（それが）嬉しかった、楽しかった、すっきりした」

そんな子どもたちに模倣されるべき大人の一人に！

パートナー指導員とのコミュニケーションを密に。

- ・ 子どもたち同士でのトラブル（ケンカ等）。
- ・ 子どものケガや体調不調。
- ・ 父母、学校、他学童の指導員からの連絡事項。
- ・ 子どもとの係わりの中で困ったこと、
わからないこと。

最後に

**子どもたちは、一個の人格を持った対等の人間であるという意識を！
（子どもの権利条約）**

どんな些細なことでも良いから、子どもたち一人一人を、みんなの前でほめてあげよう！

現在の社会、子どもたちは、また、働く親たちも様々なシンドサを抱えていること そんな中、それぞれの立場の中でみんながそれぞれにガンバッテいること そのことを理解し、子どもたちだけでなく、親の気持ちにも寄り添う努力を - 。

